

ふるさときゃらばん 新作カントリーミュージカル『パパは家族の用心棒』

ものがたり

柚子木町商店街の神野時計店は、店主・政嗣のネットワークを武器に、電気工事から農作物の運搬、宴会の司会、喧嘩の仲裁まで“何でも屋稼業”で生計をつないでいる。長男と末娘は年子で中学生。2人も預けているのだからと、政嗣はPTA会長に。ところが、長男は不良グループに染まり、政嗣は、毎日学校に呼び出されることになり、面子丸つぶれ。

何でも屋稼業の方は、妻・可奈子が、条件の悪い山間部の農業で暮らしがピンチになった長女夫婦を引き込み、繁盛させて順風満帆。その忙しい最中、娘の夫が、新食糧法の施行で活発になってきた農家に刺激を受けたこともあり、“何でも屋”の仕事辞め、農業に戻りたいと言い始めた。

さらに、可奈子の実父が、JAの広域合併に伴い、柚子木町JA組合長を降ろされたものの、今度は、めかし込んで夜な夜な遊び歩くようになった。孫と爺さんの不良化である。神野家はどうなるのだろうか……。

殺伐とした日本の荒野に
用心棒パパの口笛が流れる！



全国公演実績

全国47都道府県 738自治体
292市369町77村 1851ステージ
観客動員173万人の実績 (1995年12月末日現在)



これまでの作品評から

- 朝日新聞●「自分が舞台上上がっているよう」と大好評
拍手と笑いが絶えず、観客との呼吸は合っていた。
- 読売新聞●等身大ミュージカル。生活者の視点で舞台を見すえている
生の現実味と人間賛歌の温かさで観客を引き込む。
- 毎日新聞●ブームのミュージカル
洗練を求めず、現実感を重視した舞台作りが成功している。
- 産経新聞●“村の活性化”をリアルに表現
俳優陣のアンサンブルが良いもので、理屈なしに楽しめる。
- 日本経済新聞●観客の心つかむ セリフ・境遇に自らの姿映す
観劇後、不思議と「明日も頑張ろう」と活力わく。

- 1983年 ●劇団ふるさときゃらばん創立
- 1985年 ●文化庁主催 第40回芸術祭賞を受賞
(カントリーミュージカル「親父と嫁さん」)
- 1987年 ●第3回日本舞台芸術家組合賞受賞
(作・演出 石塚克彦)
- 1988年 ●日中国交正常化15周年記念文化使節として招待され、訪中
(上海・北京・杭州・懷柔県でコンサート)
●日本一周みゅーじかるキャラバンスタート
(ミュージカル「ムラは3・3・7拍子」)
- 1989年 ●第6回日本イベント大賞・最優秀企画賞受賞
1日で作る300人ミュージカル
「夏・祭みゅーじかるin安塚」(新潟県・安塚町)
- 1990年 ●サラリーマンミュージカル第1弾
「ユーAh! マイSUN社員」制作
- 1991年 ●日米合作ミュージカル「LABOR OF LOVE」
日米両国で公演
- 1992年 ●日本一周(47都道府県)公演達成
●バルセロナオリンピック芸術祭演劇部門に招聘
- 1993年 ●子ども参加型エコロジーミュージカル
「クマゴンの森」上演
●10周年記念大パーティーin幕張メッセ
- 1994年 ●第19回菊田一夫演劇賞受賞(音楽・寺本建雄)
●「裸になったサラリーマン」制作
(東京10月～3月ロングラン公演)
- 1995年 ●第1回全国棚田(千枚田)サミット
「男のロマン女のフマン」上演
●第11回日本舞台芸術家組合賞受賞
(俳優・振付 天城美枝)
- 1996年 ●カントリーミュージカル「パパは家族の用心棒」
3月全国初日

劇団ふるさときゃらばん

●本部事務所 / 〒184 東京都小金井市本町6-5-3 Tel.0423-81-6721 Fax.0423-83-8614
●新宿Office / 〒169 東京都新宿区百人町1-23-29-202 Tel.03-5389-6321 Fax.03-5389-0078
●大阪Office / 〒540 大阪市中央区農人橋1-4-6-408 Tel.06-944-3782 Fax.06-944-3784

乳幼児及び小学生の方は入場できません